

第12回 社会鍼灸学研究会

テーマ：日本鍼灸の社会的意義を問う

—日本伝統医学、あはきカリキュラム改正、あはき療養費—

会期：2017年8月19日(土)、20日(日)

I. 8月19日(土) 13:00～17:30

・社会鍼灸学研究者の発表会

II. 8月20日(日) 9:30～17:30

・講演、シンポジウム、討論

場所：東京医療専門学校・代々木校舎

(東京都渋谷区代々木1-55)

・JR山手線/中央総武線「代々木駅」北口より徒歩1分

・都営大江戸線「代々木駅」A3出口より徒歩1分

* 駐車場はありませんので、お車での御来場はご遠慮ください。

この数年、日本あん摩・鍼灸（以下、あはき）界では、あはきのカリキュラム改正、あん摩マッサージ指圧師養成機関設立に関する法律の再検討問題、あはき療養費の問題等、日本のあん摩マッサージ指圧・鍼灸の制度の問題が取りざたされてきた。

これは、あはきが日本人の心身の健康問題や生活の有り様にとどのように関わり、役だっているのかが、根本的に問われているということであり、あはき界は、それに答えるために、社会が納得できるあはきの内容や形（制度）を提示する必要があるということでもある。

社会にとって真に必要なものは、制度の有無にかかわらず存在するであろうし、その存在をないがしろにしようとしても、生き延びて行くであろう。しかし、本当に必要なものであれば、それを推進する人の生活が保障され、それを享受する人の必要に応じた供給を社会が保障すべきであろう。そしてもし、そこに問題があるのであれば、社会がそのリスクを回避し、改善することも必要である。その存続のためには、社会の制度の中にかかわるべく位置を与え、その存在の有り様を社会が保障する必要があるであろう。

このように考えると、鍼灸は本当に現代社会にとって必要なのかという問い直しも、あながち無意味なものではないし、日本鍼灸は、人々の健康にとどのように役立っているのであろうか、どのような形で存在することが最も人々のためになることであろうか、と自問し、分析する必要もあるであろう。

そのような視点から、本年度の社会鍼灸学研究では、日本鍼灸が現代に存在することの「社会的な、あるいは社会学的な意義」を考える機会としたい。

【主催・連絡先】 社会鍼灸学研究会

（事務局）〒214-0035 神奈川県川崎市多摩区栗谷4-10-101

嶺聡一郎

〈E-mail〉 fssam@outlook.jp

【社会鍼灸学研究会 HP】 <http://www.fssam.net/>

第12回 社会鍼灸学研究会 2017 プログラム

8月19日(土)

午後1時から

I. 社会鍼灸学研究の発表会

演題募集

社会鍼灸学に関する研究発表にエントリーをお願いします。

また、お知り合いの研究者の推薦も受け付けます。

下記のように、発表20分、質疑討論20分の予定です。

募集要領

①エントリー締め切り：7月27日(月)・・・演題と簡単な内容説明文

②抄録締め切り：8月4日(金)・・・抄録1500字以内。図表挿入可。

- 1) 13:00～13:40 (発表20分、質疑20分)
- 2) 13:50～14:30 (発表20分、質疑20分)
- 3) 14:40～15:20 (発表20分、質疑20分)
- 4) 15:30～16:10 (発表20分、質疑20分)
- 5) 16:20～17:00 (発表30分、質疑10分)
- 6) 17:00～17:30 (発表30分、質疑10分)

- 7) 18:00～

交流会 (JR 総武線代々木駅周辺)

8月20日(日) 午前9時30分～午後5時30分

Ⅱ. 日本鍼灸の社会的意義を問う

—日本伝統医学、あはきカリキュラム改正、あはき療養費—

午前の部

司会・進行：未定

09:30～09:35

① 「開会の挨拶」

形井秀一：筑波技術大学名誉教授

09:35～10:30 (発表40分、討論15分)

② 社会鍼灸学的視点の意味はどこにあるか

形井秀一：筑波技術大学名誉教授

10:35～11:30 (発表40分、討論15分)

③ 日本伝統医学の特徴と存在意義

小野直哉：未来工学研究所

11:35～12:30 (発表40分、討論15分)

④ あはきカリキュラム改正は鍼灸界をどう変えるか

嶺聡一郎：首都医校

12:30

⑤ 記念集合写真……会場内

12:35～13:30 昼食

午後の部

司会・進行：

13:30～14:25 (発表50分、質疑5分)

⑥ 医療法・健康保険法成立の背景

長谷川敏彦：未来医療研究機構代表理事

14:30～15:25 (発表40分、討論15分)

⑦ 医療法・健康保険法と按摩・鍼灸

坂部昌明：森ノ宮医療学園

15:30～16:25 (発表40分、討論15分)

⑧ 「補完的役割」の未来～あはき療養費問題を軸に～

箕輪政博：千葉県立盲学校

16:30～17:30

⑨ シンポジウム (全体討論)

全講演者：長谷川敏彦、小野直哉、形井秀一、坂部昌明、箕輪政博、嶺聡一郎

18:00～20:00

⑩ 懇親会 (場所未定、JR 総武線代々木駅周辺の予定)

Ⅲ. 参加費

会 員 3,000 円

非会員 8,000 円

※交流会、懇親会参加費別途(5,000 円程度)、 ※両日参加、1 日参加ともに参加費は変わりません。
社会鍼灸学にご興味のある先生方に参加をお誘い下さい。

【会員募集】

社会鍼灸学研究会では、会の趣旨に賛同し、社会的視点から鍼灸を研究する会員を募集しております。入会をご希望の方は、下記事務局までご連絡ください。

なお、今夏の社会鍼灸学研究会会場でご入会いただいた方も、参加費を会員扱いとします。

年会費：5,000 円（学生年会費：3,000 円）

入会手続き終了後、当国会誌『社会鍼灸学研究』をお届けします。

Ⅳ. 主催・連絡先

社会鍼灸学研究会

〈事務局〉〒214-0035 神奈川県川崎市多摩区栗谷 4-10-10-101 嶺 聡一郎

〈E-mail〉 fssam@outlook.jp

〈当日緊急連絡先〉 080-6616-4563(嶺)

社会鍼灸学研究会ホームページ：<http://fssam.net/>

Ⅴ. 入会について

- ① 入会をご希望の方は、入会申込書に記入の上、E-mail fssam@outlook.jp に添付し、お送りください。
- ② 申し込み後、下記口座に年会費をお振込ください。
- ③ 振込確認後に会員登録をさせていただきます。
- ④ 入会申し込み済みの方は、下記口座に年会費の振込みをお願いいたします。

Ⅵ. 参加申込

- ① ご参加申し込みは、参加申込書を 1 人 1 枚ずつご使用ください。
- ② 申し込みフォーマットにご記入の上、e-メールに添付して fssam@outlook.jp までお送りください。
- ③ 事前申込の場合は、申し込み後、1 週間以内に参加費を下記口座にご入金ください。
- ④ 会場予約の都合上、懇親会ご参加の有無もご記入の上、8 月 7 日（月）までに、お申し込みください。

*学生申込の方は当日、受付にて学生証の提示をお願いいたします。なお、学生であっても、あはき師の何れかの有資格者は一般扱いとなります。

振込先：

〈ゆうちょ銀行からお振込の場合〉

銀行名；ゆうちょ銀行

口座名；社会鍼灸学研究会（シャカイシンキュウガクケンキュウカイ）

記 号；1 0 1 1 0

番 号；9 1 5 9 7 8 1 1

〈ゆうちょ銀行以外からお振込の場合〉

店名；0 一八

店番；018

預金種目；普通

口座番号；9 1 5 9 7 8 1

第 12 回 社会鍼灸学研究会 2017

参加申し込み用紙

2017 年 月 日記入

しめい 氏名	
所属	(学生会員申請の方は、学校名と学年、学籍番号をお書き下さい)
住所	〒
ケイタイ (or 電話番号)	
F A X 番号	
メール アドレス	

【第 1 日目】 8 月 1 9 日 (土)	研究者発表会 (社会鍼灸学研究会)	参加する ・ 参加しない
	交流会 (研究会終了後)	参加する ・ 参加しない
【第 2 日目】 8 月 2 0 日 (日)	社会鍼灸学研究会	参加する ・ 参加しない
	懇親会 (研究会終了後)	参加する ・ 参加しない

【交流会と懇親会】 各日終了後、19日は「交流会」、20日は「懇親会」を予定しております。

是非、ご参加下さい。参加費は実費で、それぞれ 5,000 円程度です。

【昼 食】 昼食用のお弁当は、用意致しませんので、各自で準備をお願いします。
近くに、コンビニもあります。

【主 催】 社会鍼灸学研究会

連絡先；〈住所〉 〒214-0035 神奈川県川崎市多摩区栗谷 4-10-10-101

嶺聡一郎

〈E-mail〉 fssam@outlook.jp